

平成29年度第1回 芦屋市文化財保護審議会 会議録

日 時	平成29年5月15日（月）10:00～12:00	
場 所	芦屋市立美術博物館 講義室	
出席者	会 長 安部 みき子 委 員 長谷 洋一 委 員 森 隆男 委 員 中江 研 （欠席委員） 副会長 戸田 清子 （事務局） 教育長 福岡 憲助 社会教育部長 川原 智夏 生涯学習課長 茶嶋 奈美 生涯学習課文化財係長 竹村 忠洋 生涯学習課文化財係学芸員 森山 由香里	
事務局	生涯学習課	
会議の公開	■ 公 開	
傍聴者数	0 人	

1. 会議次第

- (1) 教育長あいさつ
- (2) 審議事項
 - ①芦屋市指定文化財の候補について
 - ②その他

2. 提出資料

- ・資料1－芦屋市指定文化財指定 根拠法令抜粋
- ・資料2－芦屋市指定文化財一覧（平成29年3月現在）

3. 審議経過

【議題①】 芦屋市指定文化財の候補について

(安部会長)

それでは、 議題①について、事務局より説明をお願いします。

(事務局：竹村)

芦屋市では、【資料1】のとおり、芦屋市にとって特に文化的価値の高いものを芦屋市指定文化財に指定することができます。また、これまでに市指定文化財となった資料は【資料2】のとおりです。平成7年の阪神大震災の影響で、一時は市指定文化財の指定を断絶していましたが、平成16年以降は滞りなく指定しています。平成7年以降、阪神大震災に伴う復興調査によって重要な資料が多く発見されたことから、考古資料や史跡が平成16年以降の市指定文化財のほとんどを占めます。しかし、他の種類の文化財については把握が十分でないため、価値付けなどを今後見直していく必要があります。

そこで、今回は、芦屋市立美術博物館で開催中の展覧会「春ひらく一芦屋の宝物 ～今に伝わる神社、寺院の宝物～」の展示品をご覧いただき、市指定文化財の候補となる資料の有無について審議していただきたいと考えております。

《 展覧会「春ひらく一芦屋の宝物 ～今に伝わる神社、寺院の宝物～」を観覧 》

(事務局：竹村)

それでは、展示物をふまえて何かご意見などがございましたら、お願いします。

(森委員)

写真パネルで展示をしていた力石（阿保天神社）は、郷土史家等の中で近年注目されており、大阪などでは悉皆調査もされています。力石を用いた習俗がいつまで・どのように行われていたのか、また、市内の他の力石の残存状況などが分かることが条件になるが、この力石は通常のものとは比べて2倍ほどの重さがあるようなので、詳細がわかれば民俗資料として興味深いものです。

(中江委員)

芦屋仏教会館の図面が展示されていましたが、今後、建物と合わせて図面も価値が上がると考えられます。また、芦屋には、郊外住宅地として発展してきた歴史や特徴がありますが、他市と比べて近代の建築物の指定候補が見出されていないと感じます。今はまだ指定するには年数が浅いものも、将来の調査に向けて調査を進めていただきたい。

(長谷委員)

展示されていた「伊勢物語画帖」作者がわかっており、おそらく徳川家と関わりのあるものと考えられます。調べていくと作成依頼者までわかる可能性があります。

このほか、芦屋仏教会館の聖徳太子像は、おそらく中世のものであり、一度拝見させ

ていただきたい。

(事務局：竹村)

徳本上人の掛け軸はどうでしょうか。

(長谷委員)

不動明王の描かれている方は珍しいと思いますが、詳細はわかりません。

(森委員)

展示されていた絵馬のなかで、寛政の年号と画師の名前があったものはどうでしたか。

(長谷委員)

絵馬のように数の多いものは、基準を明確にしないと指定は難しいです。

(事務局：竹村)

現在、芦屋市の文化財において、把握できていないものがないのではと感じています。震災などで古い建造物がなくなっていることから、本当に文化財がないのか、または探し方によってはまだまだ文化財が見つかるのか、ご教示いただきたいです。

(森委員)

近世の段階での「芦屋」は現在の行政上の芦屋とは違う為、「阪神間」という範囲で見する必要があります。他市に文化財が残っている可能性もあります。

(長谷委員)

地域の寺社と常に繋がりを持っており、これから広がりを持たせていくと、これまで知られていなかった文化財を知るきっかけになるかもしれません。

(安部会長)

他に意見等はありませんでしょうか。

《 各委員，意見なし 》

《閉会》